

## (別添2)

### 千鳥 (CIDORI)

飛騨高山は、古くから「千鳥」という巧みに切り込みを入れた木製の玩具で子供たちが遊んでいました。3本の木の棒を釘一本も使わずに組み合わせ結合する、大工の里飛騨高山らしいおもちゃです。この「千鳥」を立体的に展開していつても自由自在に空間を創造する仕掛けをつくりました。釘や道具やエネルギーを用いなくても、特殊技術がなくても、子供でも女性でも老人でも、この千鳥で自分たちのための気持ちのいいぬくもりのある「住み家」をつくることができます。千鳥があれば、木の枝を持ち寄り生き物が巣を作ってお互いを暖めあうように住み家をつくることができます。木の枝を利用して、大事に使うことはもちろん CO2 削減にも大きく役立ちます。

隈研吾

#### ■ 伝統技術を用い人の手でつくる

- ・ 大工の里である飛騨高山で古くから伝わる千鳥格子の技術を用いて、自由自在に空間をつくれる仕組みを提案します。
- ・ 3本の棒を、釘、道具、エネルギーを使わずに組み上げることができます。
- ・ できるだけ機械を使わずに、人の手でつくることのできる「棲みか」とし、CO2削減を目指します。

#### ■ 小さな棲みかです小さく棲まう

- ・ 小さな場所で、お互いを暖め合うように寄り集まって小さく棲むことで、機械的な空調を最低限で抑えられるような、ぬくもりのある新しい人間空間の単位を提案します。

#### ■ どこでもだれでもつくれるフレキシブルな空間

- ・ 釘を使わずにつくれることで一瞬で分解でき、いろいろな場所で再度組み立てることが出来ます。
- ・ 木材をふやせば将来どこまでも延長することが出来ます。
- ・ 特殊技術がなくても、子供でも女性でも老人でもだれでも組み立てることが出来る簡単な仕組みとします。

#### ■ 木を大事に利用する新しいリサイクルシステム

- ・ 生活形式の変化に応じて、何度でも組みなおすことができ、今までよりももっと長く木を使うことが出来ます。
- ・ 長く使われてきた古材、捨てられるような端材などでもつくる事ができます。

#### ■ 未来へつなぐ

- ・ 日々進化する新しい技術と組み合わせることで、「暖かい棲みか」と未来へつなぐことができます。